



OUCHARD, Emile Auguste, 1958 |  
黄金期後半の作品で、最高のフェルナンブーコ材を用いて作られた「CONSTELLATION (星屑)」

房を出てパリに行き、自身の工房を構えます。ちょうどこの頃のウーシャの作品の研究も完成を迎え、自身のスタイルがほぼ確立された時期でした。

独立後、精神的にも集中して仕事に打ち込める環境が整ったためか、その後は水を得た魚のように伸び伸びと働き、見事な作品を数多く製作していきます。その迷いのない自信に溢れた作品は、パリに来る前までの少し繊細で華奢だった作品と比べ、ヘッドは厚みを増して力強くな

り、フロッグも頑丈で安定感のあるビル・スタイルを完全に自分のものとし、彼は黄金期を迎えます。そして、1942年にパリで行われた職人コンテストで第1位を獲得し、名実共に優れた製作家として認められていったのです。なお、この頃の作品には、「EAOUCHARD PARIS」の刻印が押されています。

戦後、1946年からウーシャは、かねてより親交のあったマックス・ミランの紹介と、巨匠ヴァイオリニストユード・メニューインの支援を受け、アメリカのニューヨークに製作拠点を移します。作品もより大胆で力強くなり、黄金期後半を迎えます。

この時期からの作品には、「EMILE A. OUCHARD」の刻印が押されています。そして1948年には、ニューヨークからイリノイ州に引っ越し、シカゴの大楽器商「ウイリアム・ルイス & サン」社と、全ての作品の独占販売特許契約を結びます。これにより、数多くの作品を安定して販売することによってウーシャは大きな収入を得たのです。その後、彼は1951年にイリノイ

# フレンチ・ボウの名工

## 弓の歴史と名工たちの系譜

演奏家にとってある意味では楽器よりも大切といわれる弓。中でもフレンチ・ボウは18世紀から現在に至るまで最高級の弓であり続けている。最終回となる今号では、エミール・アウグスト・ウーシャとその弓を紹介する。

文/清水宏

### 第7回 (最終回)

# Emile Auguste Ouchard

## 父エミール・フランソワとクニオ・ユーリを継いで

アウグストの父エミール・フランソワ・ウーシャ(1872~1951)は、14歳の頃からフランスの弓製作家ユージン・クニオ(通称「クニオ・ユーリ」)の工房に弟子入りして弓製作を始めます。特別に優れた才能には恵まれていなかったフランソワは、真面目に働き、努力を重ねることで徐々に実力をつけ、最大12人の職人が働いていたこの工房で、最も師匠から信頼される助手に成長します。そして、24歳の時に結婚して10人の子どもを授かります。その内の9人は女子で、唯一生まれた男子が、息子エミール・アウグスト・ウーシャでした。

エミール・アウグスト・ウーシャ(1900~1969)は、13歳の頃から父と同じクニオ・ユーリの工房で弓製作を学びます。しかしこの時すでにクニオ・ユーリは他界していて、クニオ・ユーリの妻と、父フランソワがこの工房を引き継いでいました。そのためウーシャは、クニオ・ユーリから直接手ほどきを受けることはなく、父から手ほどきを受けたため、この時期の作品は父と同じスタイルで製作されています。その特徴は、ヘッドの頬がとて

## 父との確執とそこからの独立、才能の開花

その後、父フランソワは1922年にクニオ・ユーリの工房を閉鎖します。そして、1923年からミルクールに新しく自身の工房を設立したため、ウーシャもこの工房で父と共に働きま

した。この頃からメキメキと実力をつけ、優れた才能を開花させていったウーシャは、さらに研究を重ね、自身のスタイルを模索していきます。以降、父が製作した弓とは違ったスタイルの弓も数多く製作していきますが、それらの作品には父と同じ「EMILE OUCHARD」の刻印が押されています。

その後、この工房で働いていた15人の職人の中でも、突出して優れた作品を製作するまでに成長したウーシャは、ほかの職人と同じ待遇であることや、経営方針等に不満があったため、父との争いが絶えなかったようです。

そして1937年にウーシャは、父から名目上は工房を譲り受けるのですが、実質的な経営権を父が握っていた



E・A・ウーシャ

たため、雇用の問題等は何も解決されず、親子関係はさらに悪化していきます。一方でウーシャの作品は更に進化を続け、より洗練され、ヘッドは「ヴォワラン」や「ラミー」に影響を受けたような、エレガントで美しいラウンド型の非常に精密な作品を製作していきます。

また、この頃からイギリスの名門「ビル・スタイル」のアンダーライドを取り入れた弓を製作しています。なお、ウーシャはこのスタイルを生涯貫き、後のフランス弓製作家たちに大きな影響を及ぼしていきます。

工房長だったこの時期からの作品には、父の刻印は廃止され、「EAOUCHARD FILS」と押されています。その後も父は息子に経営を譲ることとはなく、意見の対立が続いたため、遂にウーシャは1940年に父の工

\*ヒル・スタイル: スティックに溝を掘り、スライドの道を作ることでフロッグを安定させ、より丈夫で長持ちするよう工夫されたスタイル。このスタイルは「ヴィヨーム・スタイル」に似ているが、「ヴィヨーム・スタイル」は溝がラウンドで、フロッグが不安定な欠点を持っていたが、「ヒル・スタイル」は角のためこの欠点を克服している。

# サントリーホール Chamber Music Garden チェンバーミュージック・ガーデン

2021 6/6 Sun. ~ 6/27 Sun. 会場: ブルーローズ(小ホール)

花ひらく、広がる、つながっていく——室内楽の庭

10周年を迎えるCMG 2021 全28公演 **好評発売中!!**

## エルサレム弦楽四重奏団 ベートーヴェン・サイクル

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲全曲

**I 6月6日(日) 19:00開演** online  
第1番、第7番「ラズモフスキー第1番」、第12番

**II 6月7日(月) 19:00開演**  
第2番、第8番「ラズモフスキー第2番」、第13番「大アガ付」

**III 6月8日(火) 19:00開演**  
第4番、第10番「ハーブ」、第15番

**IV 6月10日(木) 19:00開演**  
第3番、第9番「ラズモフスキー第3番」、第14番

**V 6月11日(金) 19:00開演**  
第5番、第6番、第11番「セリオン」、第16番

指定5,000円 サイドビュー3,500円 学生1,000円

### オープニング 堤剛プロデュース 2021

6月6日(日) 13:00開演  
チェロ: 堤剛 ピアノ: 小山実稚恵  
指定6,500円 サイドビュー5,000円 学生1,000円

堤剛 & 小山実稚恵

## フォルテピアノ・カレイドスコープ

**I 6月13日(日) 14:00開演** online  
ヴァイオリン: 佐藤俊介  
チェロ: 鈴木秀美  
フォルテピアノ: スーアン・チャイ  
使用楽器: エラール (1867年製)

**II 6月16日(水) 19:00開演**  
バス・バリトン: クレシメル・ストラジャナツ  
フォルテピアノ: 小川加恵  
使用楽器: A. シュヴァルトリンク(1835年製)  
ヴァイオリン: 水谷 晃

**III 6月23日(水) 19:00開演**  
フォルテピアノ: 渡邊順生  
使用楽器: F. ホフマン (1790年製)  
N. シュトライヒャー (1818年製)  
チェロ: 酒井 淳

**IV 6月25日(金) 14:00開演**  
フォルテピアノ: 川口成彦  
使用楽器: エラール (1867年製)  
ヴァイオリン: 原田 陽  
チェロ: 新倉 瞳

指定5,000円 サイドビュー3,500円 学生1,000円  
II・III 指定4,000円 サイドビュー2,500円 学生1,000円  
IV 指定3,000円 サイドビュー1,500円 学生1,000円

## プレシャス 1pm トーク付!

**Vol. 1 6月16日(水) 13:00~14:00**  
煌びやかな名人芸と躍動のアンサンブル  
弦楽四重奏: シューマン・クアルテット  
サントリーホール室内楽アカデミー選抜フェロー

**Vol. 2 6月18日(金) 13:00~14:00**  
ピアノ四重奏の魅力  
ヴァイオリン: 渡辺玲子 ヴィオラ: 柳瀬省太  
チェロ: 佐藤晴真 ピアノ: 江口 玲

**Vol. 3 6月22日(火) 13:00~14:00**  
フルート入り室内楽の最高傑作  
フルート: 工藤重典  
ヴァイオリン: 辻 彩奈  
ヴィオラ: 田原綾子  
チェロ: 横坂 源

**Vol. 4 6月24日(木) 13:00~14:00**  
管・弦・ハーブの豊かな調べ  
フルート: セバスチャン・ジャコー  
ヴァイオリン: 白井 圭 ヴィオラ: 田原綾子  
チェロ: 佐藤晴真 ハープ: 吉野直子

指定2,500円 サイドビュー1,500円  
ペア4,000円(同一公演の指定×2枚)

## 小菅 優プロデュース ~戦争の歴史を武満 徹「愛・希望・祈り」振り返って~

ピアノ: 小菅 優 ヴァイオリン: アレクサンダー・シトコヴェツキー  
チェロ: ベネディクト・クレックナー クラリネット: 吉田 誠

**I 6月15日(火) 19:00開演**  
**II 6月17日(木) 19:00開演**

指定6,000円 サイドビュー4,500円 学生1,000円

## ヘーデンボルク・トリオ ベートーヴェン&ブラームス

ピアノ三重奏: ヘーデンボルク・トリオ  
ヴァイオリン: ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク  
チェロ: ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク  
ピアノ: ユリアン・洋・ヘーデンボルク

**I 6月20日(日) 14:00開演**  
**II 6月21日(月) 19:00開演**

指定5,000円 サイドビュー3,500円 学生1,000円

## キラめく俊英たち

**I 6月12日(土) 19:00開演**  
弦楽四重奏: ノブス・クアルテット  
ヴァイオリン: キム・ジェヨン ヴァイオリン: キム・ヨンウク  
ヴィオラ: キム・キュヒョン チェロ: イ・ウオネ  
[特別ゲスト] 弦楽四重奏: エルサレム弦楽四重奏団

**II 6月14日(月) 19:00開演**  
弦楽四重奏: シューマン・クアルテット  
ヴァイオリン: エリック・シューマン  
ヴァイオリン: ケン・シューマン  
ヴィオラ: リザ・ランダル チェロ: マーク・シューマン

**III 6月19日(土) 19:00開演** online  
ピアノ三重奏: 葵トリオ  
ピアノ: 秋元孝介 ヴァイオリン: 小川響子 チェロ: 伊東 裕

指定4,500円 サイドビュー3,000円 学生1,000円

## キュッヒル・クアルテットのハイドン・ツィクルス

弦楽四重奏: キュッヒル・クアルテット  
ヴァイオリン: ライナー・キュッヒル  
ヴァイオリン: ダニエル・フロシヤウアー  
ヴィオラ: ハイリヒ・コロ  
チェロ: シュテファン・ガルトマイヤー

**I 6月22日(火) 19:00開演**  
**II 6月24日(木) 19:00開演**  
**III 6月26日(土) 19:00開演** online

指定6,500円 サイドビュー5,000円 学生1,000円

## ENJOY! 室内楽アカデミー・フェロー演奏会

弦楽四重奏: クアルテット・インテグラ/ドヌム・ザ弦楽四重奏団  
ボローニア・クアルテット/カルテット・リ・ナーダ  
ルボレム・クアルテット/レグリス・クアルテット  
ピアノ三重奏: 京トリオ 全席指定1,000円

**I 6月12日(土) 11:00開演** online  
**II 6月26日(土) 11:00開演**

## フィナーレ 2021

6月27日(日) 14:00開演 online  
弦楽四重奏: キュッヒル・クアルテット  
ピアノ三重奏: ヘーデンボルク・トリオ  
サントリーホール室内楽アカデミー選抜フェロー ほか

指定7,500円 サイドビュー5,500円 学生1,000円

チェンバーミュージック・ガーデン(CMG) 特集WEBページでは全28公演の詳細を掲載。公演関連情報など随時更新しています。  
@SuntoryHall\_PR @suntoryhallJAPAN

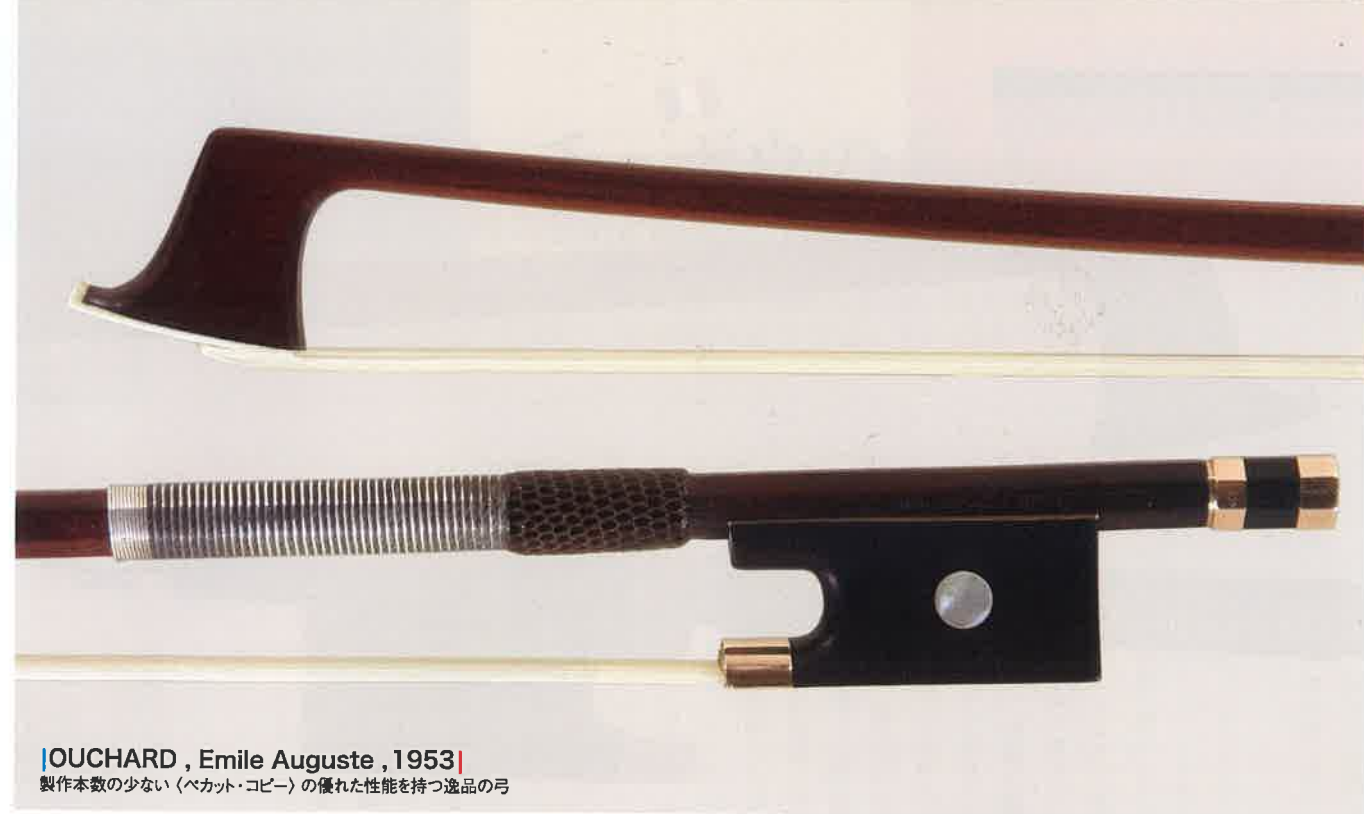
■メンバーズ・クラブ(入会無料)入会のお問合せ・チケットお申込み:  
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017  
サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB http://suntoryhall.pia.jp/  
詳細は

お問合せ・チケットご購入  
■サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10~16時、休館日を除く)  
■サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB http://suntoryhall.pia.jp/ (登録料・会費無料、座席選択可能)  
■サントリーホール窓口 (10~16時、休館日を除く) ※16時以降開演の公演がある場合は開演時刻まで営業

※ペア券・学生席はサントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみ取扱い。  
※学生席は25歳以下、公演当日に学生証提示要。  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応上、今後公演の中止や、内容変更の可能性がございますので、あらかじめご了承ください。  
※就学前のお子様のお同伴・入場はご遠慮ください。  
最新情報は、ホームページでお知らせいたします。



公演情報はこちら!



BOUCHARD, Emile Auguste, 1953 | 製作本数の少ない「ベカット・コピー」の優れた性能を持つ逸品の弓

製される見事な作品を製作しています。その後、13年間のアメリカでの生活を終え、1960年にフランスに帰国します。晩年を迎えたウィシャは、自宅前の車庫で工房を開き、そこで製作した作品は、黄金期の作品と比べるとキレイがなく品質も落ちていきます。そして、年齢と共に手が思うように動

かなくなり、ウィシャ自身が若い頃の作品と比べてシヨックを受けたこともあったのですが、諦めずに弓作りを続けます。しかし製作本数は徐々に減少していき、1969年2月14日に他界しました。今回ご紹介するエミール・アウグスト・ウィシャの作品は、1958年にニューヨークで製作された「CON-STELLATION(星屑)」と呼ばれる作品です。ヘッドは、ウィシャ自身の典型的なスタイルで製作されていて、チップは象牙ではなく金を使用されています。また、フロッグは金髄甲で製作さ



写真上:(ヒル・スタイル)。フロッグの通り道が角形のため丈夫でフロッグが安定する。写真下:(ヴィヨム・スタイル)。フロッグの通り道がラウンド型のためフロッグがガタ付きやすく不安定。

れている、貝目の代わりに金の星が6つ施された非常にアメリカチックな作品となっております。もう一つ紹介する作品は、1953年にニューヨークで製作された「ベカット・コピー」の作品です。ヘッドは「ベカット」と見間違えるほど完璧にコピーされていて、材質も通常の自身のスタイルで製作する際に用いる木材とは異なり、奥行きのあるすばらしい材料で製作されており、なお、フロッグは「ベカット・コピー」の作品のため、「ヒル・スタイル」ではなく、「ノーマル・スタイル」で製作されています。

## Hiroshi Shimizu

ラルジュ ファイン ヴァイオリン代表 (資料・写真提供)



2003年に株式会社ラルジュを立ち上げ、以降、ロンドンとニューヨークをはじめとする世界各国のディーラー、オークション会社と太いパイプを持つ。また、修理・調整についても国内外の演奏家たちに支持されている。